学校番号	209

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	地理演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	地理探究　（二宮書店）						
副教材等	標準高等地図　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地図に親しみ、常に地図を開いて地名や地形名を調べよう
・世界の様々な国の地域的特性や文化を理解しよう
・統計資料読み取りや、地図・グラフなどの作成ができるようになろう
・世界各地の気候を理解し、そこから地域の特性を考える力を身につけよう
・農業や工業の発達の仕方や種類について理解しよう

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用などに着目して、系統地理的、地誌地理的に考察する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようという態度を養う。また、日本国民として、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基礎的な地理的事象を歴史・自然・文化などと関連づけて理解することができる。	世界の諸問題を地理的観点から考察し、文化の多様性を認め、地域の特色を多角的に理解しようとする。	地理的事象に対する関心と問題意識を高め、意欲的に学習に取り組むとともに、自ら世界や地域の課題について主体的に調査できる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	現代世界の地誌的考察	・現代世界の地域区分 ・現代世界の諸地域 【中国・朝鮮半島・東南アジア・南アジア・西アジア・中央アジア・アフリカ】	a:世界の諸地域の自然環境・生活文化・課題などについて、相互の関係を理解し、総合的な知識を深めることができる。 b:世界の諸地域における農業や生活風土、言語、宗教、紛争などを、その地域の自然環境や民族などと関連付けて考察することができる。 b:世界における貿易や移民をはじめとするつながりについて理解し、そのうえで理解することができる。 c:世界の諸地域が抱える課題について、自分で調べて解決に向かおうという意欲がある。	定期考査 小テスト	定期考査	提出物 課題レポート
2	現代世界の地誌的考察	・現代世界の諸課題 【ヨーロッパ・ロシア・アングロアメリカ・ラテンアメリカ・オーストラリア・オセアニア】	a:世界の諸地域の自然環境・生活文化・課題などについて、相互の関係を理解し、総合的な知識を深めることができる。 b:世界の諸地域における農業や生活風土、言語、宗教、紛争などを、その地域の自然環境や民族などと関連付けて考察することができる。 b:世界における貿易や移民をはじめとするつながりについて理解し、そのうえで理解することができる。 c:世界の諸地域が抱える課題について、自分で調べて解決に向かおうという意欲がある。	定期考査 小テスト	定期考査	提出物 課題レポート

3	現代世界におけるこれからの日本の国土像	・現代日本に求められる国土像	a:現在の日本におけるエネルギーや環境、人口などの諸課題について理解する。 b:現在の日本が抱える諸課題を理解したうえで、2050 年の日本像を想像し、あるべき姿を考察し、それを自分の言葉で発表することができる。 c:2050 年の日本が抱える諸課題について、自分で解決しようとする意欲がある。自分で調べてみようとする意志がある。	定期考査 小テスト	定期考査	提出物 課題レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度